

【様式 02】高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.

41202

1. 開設大学	福山平成大学	開講場所 (キャンパス・施設)	福山平成大学
2. 科目名	地域の課題を「マーケティング」の思考法で解決しよう！		
	学問分野	番 号	24 名 称 商学・経営
3. 担当教員	経営学部経営学科 渡邊正樹		
4. 開講期間(曜日) 開講時間	平成 30 年 10 月 27 日(土)～平成 30 年 10 月 27 日(土) 12 時 30 分 ～ 15 時 40 分		
個別開講日	1 回目 10/27	2 回目 /	3 回目 /
	7 回目 /	8 回目 /	9 回目 /
	10 回目 /	11 回目 /	12 回目 /
5. 募集定員	30 人		
6. 科目内容・ 授業計画	■「マーケティング」という言葉を聞いたことがありますか？ もし、ご家族や身近にいる人の中で、企業に勤めている人がいれば聞いてみてください。おそらく、全く聞いたことがない、という人はいないはずです。マーケティングというのは、企業の基本的な活動の一つだからです。 ■では、「マーケティング」とは何か？ でも、「マーケティング？もちろん知っているよ！」と主張する人でも、企業の商品開発や広告に関する話だと思っている人が多いかもしれません。一昔前まで、マーケティングと言えば、企業による市場に対する活動を指すことが一般的だったのです。ところが近年、研究の世界を見てみると、マーケティング研究が取り扱う領域が、徐々に拡大しつつあります。その中では、高齢化や過疎化といった、多くの地域で課題となっている問題に対しても、マーケティング固有の思考法が力を発揮しうることが明らかになっています。 ■なぜ、「マーケティング」の思考法が、地域の課題解決に役立つのか？ 例えば、地域をより住みやすいものにするためには、その地域に関わる様々な立場の人達のニーズを知らなければなりません。あるいは、地域に誇りを持つ住民を増やすためには、その地域が持っている独自の価値を、ヨソモノである他の地域の人達にも理解してもらう必要があるでしょう。この「様々な立場の人達のニーズを知る」「ヨソモノに自分達の価値を伝える」というのは、実はマーケティング研究が主題としてきたテーマなのです。本講義では、このマーケティングの思考法で、地域の課題を解決する方法について学びます。		
7. 受講料	無料		
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) 無料		
9. 開講条件※1 あり・ない	① 最少開講人数 (3 人) 定員超過の不許可は選考により決定 ② 不許可・不開講通知日 (7月14日(金)以前の開講科目は3月末まで／7月15日(土)以降の開講科目は6月末まで)		
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと 特になし		
11. 開設大学への 交通手段	http://www.heisei-u.ac.jp/info/map.html から開設大学のホームページにジャンプして確認してください。		

※1 申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。